

テーマ「怒の心」に関する情報シート

怒（じょ）について

怒：人の身の上や心情についての察し。同情すること。また、その気持。思いやり。

忠恕：自分の良心に忠実であることと、他人に対して思いやりの深いこと。忠実で同情心に富むこと。

仁恕：なさけ深く、思いやりのあること。
あわれんで、罪などを許すこと。

寛恕：心が広く、思いやりのあること。また、心が広くて、あやまちなどをとがめだてせず許すこと。

（『精選版 日本国語大辞典』より）

『論語』

子貢問曰、

「有一言而可以終身行之者乎」。

子曰、

「其恕乎。己所不欲、勿施於人」。

子貢問ひて曰く

「一言（いちげん）にして以て終身之を行ふ可き者有りや」。

子曰く、

「其れ恕か。己の欲せざる所は、人に施すこと勿れ」。

病院理念

怒の心で患者さんに寄り添う病院を目指します

病院基本方針

患者本位の医療の実践

「怒」の心で患者さん視点に立った思いやりのある医療を行います。

当院の取り組み等

- ・当院は医療者視点ではなく、患者さんの視点に立って物事をとらえ、患者さんに対し誠実に向き合い、真に患者さんが求める医療・サービスの提供を目指しています。
- ・多職種で構成される委員会や医療チームを編成し、より質の高い医療・サービスが提供できるよう、院内スタッフ全員で協力して活動しています。
- ・定期的な外部評価により医療・サービスの見直しを図り、現状維持にとどまらず、常に改善を目指しています。
- ・当院は急性期医療を提供する病院であると同時に、緩和ケアセンターを中心に、がんなどの病気を抱える患者さんやご家族の様々なつらさ（苦痛）をやわらげて、「自分らしく

生活していくこと」を支援する取り組みも行っていきます。

- ・緩和ケアの基本は「患者さんやご家族への思いやり」であり、病院内のすべてのスタッフにより診断時、手術前後、抗がん剤治療中であっても時期を問わず提供されます。
- ・当院のスタッフは出会いの一つ一つを大切に、謙虚にそれぞれの役割を果たし、「患者さんに選ばれる病院」になるべく尽力しています。
- ・患者支援センター地域連携・医療相談室では、専門のスタッフが受診に関する相談をお受けし、患者さんにとって適切な部署へお繋ぎしています。
 - 医療費や生活費などお金のことが心配
 - 転院や施設入所の手続きがよくわからない
 - 福祉制度やその手続きについて知りたい(介護保険、健康保険、身体障害者手帳、障害年金など)
- ・患者支援センター入退院支援室では、入院治療が決まった患者さんやご家族を、入院前より専任の看護師がサポートしています。また、入院患者さんが安心して退院していただけるよう、退院支援を専門とする看護師や医療ソーシャルワーカーが院内だけではなく退院後の療養を担う医療・介護スタッフと共同して支援を行い、退院後の療養生活へスムーズに移行できるよう調整しています。
- ・がん相談支援センターでは、がんの治療で生じる様々な不安や悩みに対し、専門知識を有する認定看護師などの医療スタッフが相談をお受けしています。患者さんやご家族のほか、地域の方々はどなたでも無料でご利用いただけます。
 - セカンドオピニオン
 - 緩和ケアに関して
 - こころの悩みについて
 - 地域の病院や診療所に関する情報
 - 就労に関する相談
 - がんゲノム医療(がん遺伝子パネル検査)に関する相談について
 - 妊孕性に関する相談について
 - 思春期・若年成人(AYA世代)における、がん患者の悩みについて
- ・がん相談支援センターでは、がんの治療で生じる様々な不安や悩みを少しでも解消するために、社会保険労務士による「がん就労支援」や患者さん同士が不安や悩みを共有できる「患者サロン」、市民向けの勉強会「市民公開講座」を開催しています。
- ・医療安全管理指針では患者さんの不利益にならないことを最優先に考える必要があり、そのために医療従事者は万全の配慮を行い、常に自分の家族だったらどうするか、どうして欲しいかを考えて、患者の視点に立った医療の実現に努めることが基本としています。